

ウルトラトレイルマウントフジ 2023 事業報告会

日時：2023年7月6日（木） 15:00～

会場：富士吉田市民会館 3階 市民ギャラリー

出席者：

No	氏名	所属・部署
1	長田 明彦	富士五湖消防本部 救急課
2	渡辺 直通	富士五湖消防本部 救急課
3	齋藤 幸司	峡南広域行政組合消防本部 警防課 警防係
4	水越 文孝	日本野鳥の会 富士山麓支部
5	赤池 宏文	富士山西麓観光資源“輝き”協議会
6	秋元 芳武	環境省公園指導員 ネイチャーナビ
7	鏡木 毅	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 大会会長 NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 代表理事
8	福田 六花	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 実行委員 レースプロデューサー
9	千葉 達雄	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 共同代表 株式会社ソト工代表取締役プロデューサー
10	岡嶋 智己	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 実行委員 株式会社アールビーズ
11	中尾 益巳	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 実行委員 NPO法人ディスカバー・リアス 代表理事
12	堀内 伸	鳴沢村 教育委員会
13	古屋 貴嗣	富士河口湖町 生涯学習課
14	勝又 脩介	御殿場市 スポーツ交流課
15	川口 健太郎	忍野村 教育委員会
16	神谷 知里	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 事務局
17	岩谷 忠彦	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 事務局
18	佐藤 和	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 事務局
19	鈴木 磨美	ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 事務局
リモート出席		
20	遠藤 淳	静岡県 東部農林事務所森林整備課
21	望月 靖郎	静岡県 暮らし・環境部環境局自然保護課
22	織田 遼太	静岡県 暮らし・環境部環境局自然保護課
23	安藤 祐輝	山梨県環境・エネルギー部 自然共生推進課
24	戸澤 梨紗子	山梨県環境・エネルギー部 自然共生推進課
25	福原 みさよ	富士山エコレンジャー連絡会
26	七井 辰男	特定非営利活動法人富士山クラブ
27	市川 洋介	富士市 交流観光課
28	影山 智海	富士市 交流観光課
29	望月 昌宏	富士宮市 スポーツ振興課
30	片田 悠貴	身延町 企画政策課

議題

- (1) 2023 大会開催報告
- (2) 環境モニタリング報告
- (3) NPO 法人トレイルランナーズ倶楽部の事業報告
- (4) 質疑応答
- (5) その他

<大会会長 鍋木 挨拶>

「本日は足をお運びいただきありがとうございます。ウルトラトレイルマウントフジはまだ成長段階の大会で、今回もいろいろと検討しながら進めていければと思っております。本日も忌憚のないご意見いただけたらと思います。よろしくお願い致します。」

【2023 大会開催報告】

<共同代表 千葉>

- 前回との変更点：商標問題により UTMF という名称を使わずに開催。海外選手の受け入れを再開し、世界 30 か国の地域から過去最大 3,452 名の参加。
駐車場の不足する事態が生じた。
- 日程：4 月 21 日から 23 日までの 3 日間。11 回目の開催。
雨天予報があったものの予定していたコースにて開催。
- 出走者数：FUJI 2,387 名 KAI 807 名
トレラン愛好者が増えている香港、タイからの参加が増加。
- 大会来場者数：選手・応援を含め、富士急ハイランド約 8,500 名（20～23 日延べ人数）、富士山こどもの国約 3,100 名（21 日）過去最大の来場者数。
- ボランティア・スタッフ：約 1,300 名。
- 入賞者：男女ともに中国の選手が優勝。
- 大会中救助要請対応件数：21 件。搬送 1 件（選手ではない）。
クロノロジーの共有を取り入れた。
- EXPO：富士急ハイランドコニファーフォレスト 32 ブース。
レースヴィレッジも同時開催。国内レースの主催者が集結する初めての試み。
協議説明を YouTube Live で行い、定着。
- Virtual UTMF：アプリを使用したランイベント。
- SNS：Instagram の投稿に力を入れたことによりフォロワー数が増加。
- 広告：ジャパントイムズの記者が来日参戦し、紙面に掲載。
- テレビ放映：NHKBS1「グレートレース」にて 7 月 30 日 19 時から放送予定。再放送は 8 月 11 日 16 時 20 分から放送予定。NHK ワールドでの放送も調整中。

【質疑応答】

<富士五湖消防本部救急課 長田>

「救急出動 1 件とお話がありましたが実は 2 件ありました。先程のスタッフの方が 1 件、山中湖交流プラザきららから選手が 1 件。以前うちの消防本部にて打ち合わせをしていた中で救急搬送の場合にはなるべく大会本部を通じて救急搬送をすとお話がありましたが、交流プラザきららからの通報は交流プラザに常駐しているドクターから直接要請をいただいたところで今回お約束の中と違う点がございました。

また今回スプレッドシートを活用する点で、赤はなく黄色あるいは緑とスプレッドシートの方にあり、うちの指令センターの方でも随時リアルタイムで確認でき非常にいいことであったと報告を受けております。この 2 点がうちでありました事案です。」

<共同代表 千葉>

「きららの件はすみませんでした。我々の認識のないところで大変失礼いたしました。救護の方にもフィードバックをしておきます。ありがとうございました。」

【環境モニタリング報告】

<共同代表 千葉>

・調査箇所について大会後の大きな問題はなかった。

【NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部の事業報告】

<事務局 神谷>

各自治体からは環境ガチャの景品の提供、21 万 1 千円の寄付金が集まった。景品をご提供いただいた各自治体の PR 動画を EXPO 会場の大型ビジョンで大会期間中放映。寄付金は昨年よりスタートさせた石割山登山道補修プロジェクトで、5～6 月に行われた整備活動に活用。

他、大平山周辺トレイル補修、須山口登山歩道補修、富士山麓トレイルコミュニティへの参加。

公益財団法人日本鳥類保護連盟に野鳥の調査を依頼。9 月調査報告予定。

<大会会長 鏑木>

補足：環境省の方でも近自然工法が今後クローズアップされており、ノウハウを持って色々な地域に近自然工法が実施できるよう人材育成も含めて活動を進めている。

【質疑応答】

<環境省公園指導員 秋元>

「スタートからゴールまでの時間割を見ますと特別地域を夜中に通る時間想定が見られる。人間以外の生物が安息している就寝時に特別地域を避けて 2500 から 3000 人の選手が走ることはできないのでしょうか。」

<共同代表 千葉>

「特別保護地区は国道を通っています。」

<環境省公園指導員ネイチャーナビ 秋元>

「そこは国道だけ全部通っているのですか。」

<共同代表 千葉>

「はい。ずっとそう説明申し上げています。」

<環境省公園指導員 秋元>

「そうですか。地図が小さかったの。その他の地域でも結局そこを10時間に渡って人が通過するわけです。だからその前の天子が岳などのその辺の影響についてとても心配しております。」

<共同代表 千葉>

「具体的にどういったことですか。野鳥ですか。」

<環境省公園指導員ネイチャーナビ 秋元>

「そうですね。動物とかに可哀そうだなという気持ちがとても大きいです。」

<共同代表 千葉>

「野鳥の活動に心配だということですね。わかりました。」

<環境省公園指導員 秋元>

「それともう1ついいでしょうか。モニタリングで通行の方に聞かれる質問項目の中に開催されるかどうかとありますけれど、今私が言いましたような夜中に自然の中を2500名の選手がドタドタ歩くことについてどう思いますか、という項目を入れていただきたいと思えます。」

<共同代表 千葉>

「具体的にその項目をどう思っているかを皆さんに聞きたいと。」

<環境省公園指導員 秋元>

「そうです。一般の人がほとんど知らないと思います。それが人間の傲慢というか、自分たちにとってはとても楽しくて事業的にも成り立つとされることがいいし、ウルトラトレイルマウントフジの実施体験については賛同するところが多いのですが、その中で陰に隠れてしまっている知らないことを敢えて問いかけていただきたいと思えます。」

<共同代表 千葉>

「わかりました。逆に言いますと、昼間でしたら人間はたくさん活動していますが、野生動物には影響ないとお考えですか。」

<環境省公園指導員 秋元>

「いや、やっぱり数の問題です。」

<共同代表 千葉>

「昼間にこれだけ富士に人間がいて活動しているけれどそこは問題なく、我々が動くのは問題があるということですか。」

<環境省公園指導員 秋元>

「一般の方は樹海に入ってくる人はとても少ないです。ですから、その辺の影響が大か小かということから見ていただきたい。」

<共同代表 千葉>

「よくわかっています。人がどう思うかを聞いていただきたいということですか。」

<環境省公園指導員 秋元>

「世の中に影響を与えるような活動であると認識してほしいということです。」

<共同代表 千葉>

「わかりました。」

<富士山西麓観光資源“輝き”協議会 赤池>

「今の話は、樹海の中に団体が入る数の制限をしようという環境省も考えている関連だと思います。適性の数があるのかないのか。樹海に関しては歩道ではないところに入ってしまうので、迂回路も含めて検討しようとして今環境省と相談されていると思うので、その延長かなど。その適性の数がどこなのか課題、検討があつていいと思います。」

道の整備では近自然工法がなかなか難しく、私たちも整備は少しずつ行なっており一緒にやっていただけて助かっています。当然荒れたところは直していくが走るために直すわけではない。今後少しずつ道を伸ばしていく予定でいるので、協力をお願いしたいと思います。選手の皆さんにも大事に使ってほしいので、その辺の警告を引き続きよろしく願い致します。」

<日本野鳥の会富士山麓支部 水越>

「本番の21日から3日間だけではなく、1～2週間以上前から走っていますよね。本部では全然把握してないわけですよね。」

<共同代表 千葉>

「来ていることはわかっていますが、数は把握できていないです。」

<日本野鳥の会富士山麓支部 水越>

「大会のコースを選手たちがわかれば自主的に下見を兼ねて走っている。結構走っていますよ。」

<共同代表 千葉>

「はい。認識しております。我々は大会だけではなくて、大会を通して富士山に登るだけではなくてトレイルを歩いたり走ったりとまた違った目でこの地域を見てくれたら嬉しいなということがあります。もちろんマナーの啓発はしないといけませんけど、寧ろ年間を通して来ていただきたいと。もしご迷惑をかけているのなら我々の方からルールとかマナーとか、場合によって人が多すぎるのであればこの時期は遠慮してくださいと考えていきたいと思っておりますので、引き続きご指導いただけたらと思います。」

<エコレンジャー 福原みさよ>

「エコレンジャーのパトロールで自然休養林や須山登山歩道などを歩いています。報告の中で、昨年と今年弁当場の上の方で整備をしてくださったとのことですが、その時期弁当場の上をまだ歩いておらず、6月17日に水が塚から弁当場まで歩いたのですが弁当場上部とは沢沿いに歩いて行った方でしょうか。」

<事務局 神谷>

「須山口登山歩道の整備は弁当場の前から沢沿いをずっと行きまして、沢から登山道のみになる手前までを現在させていただいている状況です。その上は保存会の方々と視察をしたのですが水の量が多すぎて今の状況では太刀打ちできないのが現状です。またみんなで話し合っって整備を続けていけたらと思っておりますので今後もよろしくお願ひ致します。」

<エコレンジャー 福原みさよ>

「UTMFの始まった最初のころはコースになっていたので、そのあとも毎年登山歩道をパトロールしています。そこからさらに上の藤原平から水が塚の水源地にかけたあたりはトレイルランニングだけではなく、自然に荒れる状態で雨がたくさん降ったときに土石流が流れるような崩れ方をしています。弁当場の上部も昨年歩いた時にだいぶ流されていると思いました。まだ今年になって歩いておらず、どんな感じになったのか見ていきたいと思ひます。みなさんが登山道を安全に楽しく歩くためにも、修復も大事だと思ひるので、できることをできたらいいなと思ひます。6月17日に歩いた時は弁当場に車道から入るところも崩れて通行止めになっていました。パトロールをしながら気が付いたところを報告し官民協力してというお話もありましたけど、いい方法を考えながら改善していけたらいいと思ひています。」

議事録作成

ウルトラトレイルマウントフジ実行委員会 事務局

鈴木 磨美